

「社会」ノート

守るべき3つのコツ

『成績10倍ノート』の5つのコツのうち、社会では次の3つを特に重視します。

- 1 揃える
- 4 コピーを貼る
- 5 図で整理する

(ノート例：見開き)

見出し

教科書の見出しは大きく書き出すなどして工夫しましょう。苦手な内容にはカラーペンなどで色をつけると、得意分野と区別ができ、ポイントをしぼった復習ができます。

コツ1
を活かす!

復習ページと連動

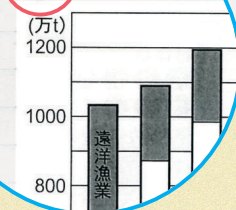
社会ノートは左ページを授業用、右ページを復習用として使います。授業で学んだことを地図にまとめる時、同じ内容を記号などで連動させましょう。右ページを見ながら地図上の範囲や分布などを確認したり、左ページを見ながら各項目の特徴を覚えたりして、両方のページを上手に使い分けます。左右の位置がずれても、記号で連動させておけば見やすく便利です。

連動!

「世界と日本の水産」

● せまくなる日本の漁場

日本の漁業...



記号を使って連動!

行間を取っておくと、補足事項などを書き込むことができる。

「世界と日本の気候」

① 日本の気候区

1. 太平洋型気候区... 夏から冬にかけて降水が多。
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
2. 日本海型気候区... 1に比べて冬の降水(雪)が多い。
3. 九州型気候区
4. 南西諸島型気候区
5. 北海道型気候区... 梅雨がほとんどなく、気温がわりあい低い。

「世界と日本の水産業」

② ● せまくなる日本の漁場

日本の漁業... 沿岸漁業、沖合漁業、遠洋漁業

漁獲量の減少... 1970年代、沿岸から200海里までの海を自国の漁業水域とする国がふえた。

「社会」ノート は白地図で差がつく!

中学社会は地理・歴史・公民の3つの分野に分かれます。それぞれノートに分けて作るようになるでしょう。分野は違っても、ノート作りのポイントは一緒です。また、この科目では、テストで地図やグラフなどを読み解く力が問われます。復習は、これら地図やグラフにポイントをしぼって行いましょう。

コツ5
を活かす!

白地図を使う

地図は手書きでも構いませんが、復習で使うなら白地図を使ってまとめることをおすすめします。

地図を描く手間が省け、正確な位置も把握できます。

ここがポイント!

白地図は複数枚用意しておく

市販の白地図帳やインターネットの無料の地図ダウンロードページなどを利用し、白地図を手にいれておくとう便利です。復習時だけでなく、授業中に地図を描かなければならない時にも役立ちます。ノート用に縮小したものを用意しておけば、その場で貼り込むこともできます。

コツ4
を活かす!

グラフ・表

グラフや表については、授業で触れられないこともあります。ですが、テストや入試では、グラフや表から答えを読み解く問題が頻出されます。ポイントとなるものについては、コピーしてノートに貼っておきましょう。これでテスト直前でもスムーズな見直しができます。